

6 お客さまへの安全走行のお願い

■ 高速道路を安全で快適にご利用していただくために、お客さまに次のことをお願いしています。

- (1) 燃料切れ・タイヤパンク急増！ 走行中の故障トラブルを防ぐため、走行前に車の点検をお願いします
高速道路上での故障トラブルは、事故や渋滞の原因となります。故障トラブルの大半が、走行前の基本的な車両点検で防げるものです。燃料、タイヤ、オイル、冷却水などの点検を忘れずをお願いします。
なかでも特に燃料切れ、エア不足によるタイヤのパンクが増加しています。休憩施設での早めの給油にあわせて、空気圧をチェックし、安全運転をお願いします。
- (2) 後部座席でもシートベルトを着用しましょう
シートベルトは命綱、衝突時の身体への衝撃を和らげてくれます。2008年6月から、運転席・助手席だけでなく、後部座席においてもシートベルトの着用が義務化されました。車に乗車したら、全席シートベルト着用をお願いします。
- (3) ETCカードは確実に挿入してください
ETCカードの挿し忘れや不完全な挿入の状態でのご利用は、開閉バーの未作動の原因となり、非常に危険です。確実に車載器へETCカードを挿入したことを確認してご利用ください。
また、ETCカードにはクレジットカードと同様に有効期限があります。有効期限切れのETCカードでは開閉バーが開きませんのでご注意ください。
- (4) ETCレーンは、十分に速度を落としてご利用ください
ETCレーンには、前の車と十分な車間距離をとった上で、時速20km以下に減速して進入し、ETCレーン内は徐行の上、安全に停止することができるような速度で、開閉バーが開いたことを確認してご通行ください。
- (5) 渋滞末尾での追突事故に注意してください
渋滞発生時には、渋滞の車列の中や渋滞の末尾での追突事故が発生しやすくなります。わき見をせず安全運転を心がけ、渋滞に遭ったらハザードランプで後続車に合図するなど、追突事故の防止に心がけてください。
- (6) 適度な休憩を取って安全運転を
夜間運転や長時間運転は疲れやすくなります。サービスエリアなどを利用して適度な休憩をとり、安全運転を心がけてください。また、最近サービスエリアなどから進入方向を間違えるなど、高速道路本線を逆走して事故に至るケースが発生していますので十分に注意してください。
- (7) 給油やトイレはお早目に
給油やトイレは、渋滞区間の手前などでなるべく早目にお済ませください。
- (8) 万一、事故や故障が起こった場合、安全な場所にすみやかに避難を
高速道路上で人がはねられる事故が増えています。交通事故や故障により停止した場合、道路上にとどまることは非常に危険です。ハザードランプや三角停止表示板、発炎筒などで後続車に危険を知らせたら、通行車両に十分注意し、すみやかにガードレールの外など安全な場所に避難してください。

また、非常電話による通報もお願いします。

(9) 道路の異状は道路緊急ダイヤル『#9910』で通報を

車両の通行に支障となる道路の穴ぼこや落下物などの緊急事態を発見したら、お近くに非常電話がない場合、道路緊急ダイヤル「#9910」による通報をお願いします。

固定電話（NTT）、携帯電話（NTTドコモ、au、ソフトバンク）、PHS（ウィルコム）からの通報が可能です。

(10) 緊急地震速報が発令されたら

緊急地震速報が発令されてから、強い揺れが来るまでの時間は数秒から数十秒の時間があります。

高速道路上やサービスエリアなどで緊急地震速報を受信したときは、身を守るために以下のような行動をお願いします。

○自動車運転中にカーラジオなどで受信した場合は…

- ・あわててスピードを落とさない
- ・ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促す
- ・急ブレーキはかけず、緩やかに速度を落とす
- ・大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止

○人が大勢いる施設では…

- ・落ちついて行動
- ・あわてて出口へ向かって走り出さない

(11) 渋滞を緩和するためのお客さまへのお願い

お客さまのちょっとした心がけで、渋滞を緩和し快適なドライブにつながりますので、以下のような運転をお願いします。

○速度を低下させない

- ・上り坂に差し掛かると、気が付かないうちに速度が低下し、車間距離が縮まるため、後続車が次々とブレーキを踏んで、渋滞が発生します。上り坂では、速度を低下させないように注意しましょう。



○車間距離をつめ過ぎない

- ・車間距離をつめ過ぎると、前の車の速度低下で後続車が次々とブレーキを踏んで渋滞が発生します。余計なブレーキを踏まないように十分な車間距離をとって走行しましょう。



○追越車線に集中しない

・混雑してくると、少しでも早く走ろうと追越車線に車が集中します。その影響で車間そのまま上り坂やサグに差し掛かると、追越車線から渋滞が発生しやすくなります。

また渋滞中における必要以上の車線変更は更なる渋滞の悪化を招きます。

